

第五十六回帝國議會
衆議院

國寶保存法案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
國寶保存法案(政府提出)

會議

昭和四年二月二十三日(土曜日)午前
時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山下 谷次君

理事 松尾 四郎君

伊藤仁太郎君 福井 甚三君

川崎 克君 村松恒一郎君

武藤 山治君

同日委員椎尾辨匡君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ武藤山治君ヲ議長ニ於テ選定セ

リ

出席政府委員左ノ如シ

文部政務次官 山崎達之輔君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ

如シ

文部省囑託 荻野伸三郎君

文部省囑託 關野 貞君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國寶保存法案(政府提出)

○山下委員長 ソレデハ是カラ開會致

シマス、質問ノアル方ハドウゾ——伊

藤君

○伊藤委員 私ハ法律ノ關係ニ於テ參

考ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス、此法案

ノ一番大事ナ所ハ國寶ト目サレモノ

ガ海外ヘ輸出サレル、甲カラ乙ヘ知ラナ

イ間ニ轉々サレルト云フコトヲ、一番

ニ恐レル爲ニ出來タ法案ト考ヘルノデ

アリマス、ソコデ國民同志ノ間ノ關係

ハ、相當或ル程度迄取締ガ出來ルト考

ヘテ居リマスガ、外國人トノ間ニ轉々

スル關係ニ於テ、之ヲ賣渡若クハ引渡

シタ者ハ刑罰ニ處セラレルコトニナッ

テ居リマス、唯ソレダケノコトデ此轉

轉サレルコトヲ抑ヘラレルト見込ンデ

オイデニナルノデアリマスカドウカ、

其法律關係ガ一寸私ニハ分ラナイ、ソ

レカラ國寶ト指定サレテ、其取締ヲ受

ケルモノデアルガ故ニ、海外ノ人ニ賣ッ

テハ惡イ、斯ウ云フヤウナコトニ規定

サレテアリマシテモ、若シ隱レテ賣ッタ

ト云フヤウナ場合ニ付テハ、賣ッタ方ノ

國民ハ此法律ニ依テ明ニ處罰モサレル

デアリマセウガ、賣ッタ方ノ外國人ニ全

體ドウ云フコトニナルノカ、ソレカラ

此違法ノ手續ニ依テ、外國人ニ賣渡サ

レタ物件ト云フモノハ、法律上ノ關係

カラドウ云フコトニナッテ行クモノデ

アルカ、ソレガハッキリシテ居ナイト、

折角ノ法案モ大體ノ目的ガ貫徹シ得ナ

イモノト考ヘマス、法律ニ無知識ナ吾

吾トシテハ、サウ云フコトヲ先ヅ聽イ

テ置キタイト思ヒマス、御答願ヒマ

ス

○山崎政府委員 只今ノ御質問ニ御答

致シマスガ、此法律ノ施行セラルル區

域即チ國內ニ於テ國寶トナルモノヲ外

國ヘ出シマスレバ、内地人タルト外國

人タルトヲ問ハズ、此法ヲ取締ヲ受ケ

ル關係ニナリマスガ、扱外國ニ居ル外

國人ガ持出シタト云フ、ソレニ對スル關

係ハドウナルカトナリマス、是ハド

ウモ法律デ如何トモスルコトガ出來ナ

イコトニナリマス、詰リ日本人ガ持ッテ

居ッテソレヲ日本ノ國內ニ於テ外國人

ニ賣ルト云フマデハ差支アリマセヌ

ガ、又買ッタ外國人ガ之ヲ外國ニ居ル外

國人ニ賣レバ、日本ニ居ル外國人ハ取

締ガ、出來マスガ外國ノ方ハドウモ致

方ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、法

律ノ力デハ其程度以上ノ事ハ出來ナイ

コトデアリマスカラ、何共已ムヲ得ヌ

コトカト思ヒマス、併ナガラ是ダケノ

取締ノ規定ガ出來テアリマスレバ、從

來ノヤウニ海外ニ流レ出ルト云フヤウ

ナコトヲ防グコトニハ十ガ十トハ參リ

マセヌガ、大部分ハ其目的ヲ達スルコ

トガ出來ルカト考ヘテ居リマス

○伊藤委員 私モ大方サウデアラウト

考ヘテ居リマシタガ、念ノ爲ニ伺ッタノ

デアルガ、尙其御趣旨ヲ以テ流出スル

コトヲ防グ事ノ手續ニ付テハドウスル

カ、モウ一層御考慮下サツタナラバ、相

當ナ方法ガ案出サレハシナイカト思ヒ

マス、是ダケ願ッテ置キマス

○福井委員 只今伊藤君ヨリノ御質問

モアリマシタガ、私モソレニ多少關聯

シテ御同致シマス、斯ウ云フ國寶ヲ外

國ニ持出スト云フコトニ付テハ、本人

ヨリモ寧ロ道具屋、所謂仲立業、是ガ最

モ色々ノ甘言ヲ以テ、又色々ノ言葉ヲ

以テ誘導スルト云フコトガアツタ、從來

此道具ヲ取扱フニハ總テサウ云フ者ガ

多イノデアリマス、或ハ幫助機關ト申

シマスカ、サウ云フモノニ對シテノ罰

則ヲ付ケテ置イタラドウデアラウカト

思ヒマス、所謂道具屋、仲介人、サウ云

フ者ノ參加シタモノニ多少ノ罰則ガ必

要デアルマイカト考ヘマスガ、如何デ

アリマセウ

○山崎政府委員 ソレハ矢張仲立人ガ

通謀ヲシテ海外ニ輸出ヲ幫助致シマス

レバ、ソレハ當然矢張此法ノ制裁ヲ及

ボスコトニ相成ルノデアリマス

○福井委員 サウスレバ何等カ此條文

ニ幾分カ其意味ヲ表ハシテ置クト云フ

コトガ禁止ノ方法ニ效果ガアリサウニ

思フノデスガ、サウ云フ御考ハアリマ

セヌカ

○山崎政府委員 ソレハ刑罰法規ノ性

質上當然ノ事デアリマシテ、別ニ此規

則ニ書ク必要ハナイカト思ヒマス、刑

法ノ方カラ當然ノ理論トシテ生レ出ル

結論デアリマスカラ、事立ッテ此處ニ書

ク必要ハナカラウカト思ヒマス

○武藤委員 此法案ヲ拜見致シマス
ト、御趣意ハ非常ニ結構ト考ヘマスガ、
私ハ此法案ニ含マレテ居ル意味ハ可ナ
リ重大ナ點ガアリハセヌカト思ヒマ
ス、第一條ニ依リマスツト云フ、政府ハ
國寶保存會ニ諮問シテ、何人ノ品物デ
モ直ニ國寶トシテ指定スルコトガ出來
ル、斯ウ云フコトガアリマスガ、私ハ是
ハドウモ御趣意ハ非常ニ結構ダト思ヒ
マスガ、可ナリ是ハ重大ナ問題デナイ
カト思ヒマス、一體國寶保存會ト云フ
モノハドウ云フモノデアルカ、政府カ
ラ十分ニ國寶保存會ナルモノヲ明ニセ
スト云フト、今日ノ古社寺ナドノ什器
ヲ國寶ナリトシテ指定シテ居ラレルヤ
ウニ、吾々ノ眼カラ見レバ、國寶ナンカ
トスル價值ガ少シモナイモノガアル、
所ガ政府ノ遣方ヲ見ルト、何デモナイ
ノニ國寶ニシナケレバ氣ガ濟マナイ形
デアル、濫リニ古社寺ヲ漁ッテ見テ、時
ニハ國寶ラシイモノモ見附カルコトモ
アルケレドモ、國寶ラシクナイモノガ
續々出來テ來ル、ソレモ澤山ノ費用ヲ
古社寺ニ與ヘルナラバ宜イケレドモ、
僅バカリノ費用ヲ與ヘテ、古社寺ト云
フモノハ非常ニ苦シメラレテ居ルデハ
ナイカト私ハ思フ、ソレニ今度ノヲ見
ルト僅カ十五萬圓カ二十萬圓ノ金デア
ル、此位ノ金ヲ以テ現在ノ古社寺デ國
寶トシテ指定シタモノサヘ、修理保存
ノ途ガ十分届イテ居ラヌノニ、個人ノ
モノマデ國寶保存會ニ諮問シテ、國寶

保存會デ宜イト言ヘバ之ヲ國寶ニ決定
シ、登錄シテ、サウシテ其受ケル所ノ色
色ノ制裁ト云フモノハ、可ナリ是ハ重
大ナモノデアル、一體誰ガ國寶保存會
ニ個人ノモノヲ此品物ハ國寶トスル價
値ガアルモノダト云フ原案ヲ、國寶保
存會ニ出スノデアルカ、私ハ此法案ニ
ハ趣意ハ非常ニ賛成ダケレドモ、モウ
少シ能ク研究ヲシテ、サウシテ眞ニ國
寶ヲ保存スルト云フダケノ注意ヲ十分
ニセシメ、又ソレガ爲ニハ相當ナ費用
ヲ國家モ之ニ支出スルト云フ原案デナ
ケラネバ、斯ウ云フ簡單ナ原案ヲ提出
セラレテ、サウシテ個人ノ所有品ヲ續
續國寶ニ登錄セラレテ、而モ第七條ニ
ハ國寶ノ所有者ハ主務大臣ノ命令ニ依
テ一年內ノ期間ヲ限り、帝室博物館其
他ニ何時デモ出サナケレバナラヌ、是
ハ實ニ驚入ッタ條文デアル、苟モ國寶ト
デモノ名ノ附ク品物ハ、一年ナンカ曝サ
レタ日ニハ——一年ハ愚カ一箇月間續
ケテ曝サレタナラバ、非常ナ破滅ヲ受
ケル、個人トシテ愛玩シテ居ル物ハ殆
ド目ノ前デ開クサヘモ戰々競々トシテ
居ルモノモアル、故ニ私ハ此簡單ナ條
文デ以テ取扱ハレルト云フコトハ、國
寶保存ノ趣意ニ適フヤ否ヤ、斯ウ云フ
法案ヲ出スナラバ、モウ少シ注意研究
セラレテ、眞ニ國寶保存ノ趣意ニ適フ
ヤウナ意味合ニ於テ、モウ少シ大藏省
トモ協議シテ出シテ戴キタイ、コンナ
十五萬圓カ二十萬圓ノ端金ヲ以テ、今

日古社寺ノ國寶サヘ保存シ得ナイ狀態
ニアルノニ、ソレヲ更ニ個人マデ及ボ
シテ行カウ、斯ウ云フ原案ヲ提出サレ
ルコトハ、御趣意ニハ非常ニ共鳴スル
モノデアル、熱心ニ賛成シマスケレド
モ、此法案ハ非常ニ不備ナ所ガ私ハ多
イト思フ、故ニ寧ロ一年ナリ延期サレ
テ、モウ少シ完全ナ法案ヲ提出セラレ
タラドウデアリマセウカ、之ヲ私ハ伺ッ
テ見タイト考ヘマス

ハ、ソレハ毛頭アリマセヌ、唯是迄ハ御
承知ノ通りニ、古社寺有ノ物ダケガ保
存法ニ依テ保存ヲサレテ居リマシタ
ガ、場合ニ依テハドウモ個人ノ所有物
デ、前回モ此處デ御披露申上ゲマシタ
ガ、古社寺有ノ國寶ニ較ベテ劣ラザル
優良ナ逸品ガ民間ニモ相當アル譯デア
リマスカラ、左様ナ物モ矢張國寶トシ
テ指定シ得ル餘地ヲ造ルト云フコトハ
必要デアル、併ナガラ何ヲ國寶トシテ
指定スルカト云フコトハ、是ハ武藤君
ノ御説ト私共ノ考モ同様デアリマシ
テ、相當嚴重ナ範圍ニ限定シナケレバ
ナラヌ、苟モ是ガ濫ニナルト云フコト
ハ、此法ノ精神ヲ滅却スル所以ニナル
譯デアリマスカラ、選定ニ付テハ固ヨ
リ嚴重ナ方針ヲ執ッテ參ルコトガ必要
デアルト思フノデアリマス、唯奈何セ
ンソレヲ法律デ何處迄ノ範圍ヲドウト
云フヤウナコトハ、物ノ性質ニ依ルコ
トデアリマスカラ、此法律ヲドウ修正
シマシテモ、其範圍ヲ限定スルコトハ、
是ハ中々困難デハナイカト思フノデア
リマス、御趣旨ニハ全然同感デアリマ
スガ、法案トシテハドウモ此程度ノコ
トデ御満足ヲ得ナケレバナラナイコト
デハナカラウカト思フノデアリマス、
ソレカラモウ一點ハ從來、此規則ニア
リマス通りニ、一箇年ニ十五萬乃至二
十萬ノ金ヲ國庫カラ出スコトニ相成ッ
テ居リマシテ、前回モソレニ付テハ實
ハ説明ヲ申上ゲマシタガ、今日國寶ト

○山崎政府委員 武藤君ハ此法案ハ非
常ニ不備ガ多イヤウデアアル、モウ少シ
延期シテ完全ナ法案ヲ出シタラドウ
カ、趣意ハ宜シイガ、大分不備ガアルヤ
ウデアルト云フ御趣意ノヤウデアリマ
シタガ、法案トシテ私共ハ別ニ不備ガ
アルトハ考ヘマセヌ、武藤君ノ御懸念
ニナリマス點ハ、如何ナルモノヲ如何
ナル手續ニ依テ國寶トシテ指定スル
カ、其指定ガ非常ニ濫ニナリハシナイ
カト云フ點カラ起ル御懸念ト想像ヲ致
シマスルガ、左様ナ點ハ法律デ以テ明
確ニ範圍ヲ決メルト云フコトハ、ソレ
ハ立法技術ノ上カラ考ヘマシテモ、殆
ド不可能ナ事デアラウト思ヒマス、寧
ロンレハ行政ノ方針ニ在ルコトデハナ
イカト思フノデアリマス、其點ニ付テ
ハ前回ノ委員會ニ於テモ、最モ其道ニ
玄人デアラレマスル川崎君、其他カラ
モ御質問ガアリマシテ、當局トシテモ
決シテ國寶ト云フモノヲ無茶苦茶ニ範
圍ヲ亂暴ニ擴張シテ行クナドト云フ考

ハ、ソレハ毛頭アリマセヌ、唯是迄ハ御
承知ノ通りニ、古社寺有ノ物ダケガ保
存法ニ依テ保存ヲサレテ居リマシタ
ガ、場合ニ依テハドウモ個人ノ所有物
デ、前回モ此處デ御披露申上ゲマシタ
ガ、古社寺有ノ國寶ニ較ベテ劣ラザル
優良ナ逸品ガ民間ニモ相當アル譯デア
リマスカラ、左様ナ物モ矢張國寶トシ
テ指定シ得ル餘地ヲ造ルト云フコトハ
必要デアル、併ナガラ何ヲ國寶トシテ
指定スルカト云フコトハ、是ハ武藤君
ノ御説ト私共ノ考モ同様デアリマシ
テ、相當嚴重ナ範圍ニ限定シナケレバ
ナラヌ、苟モ是ガ濫ニナルト云フコト
ハ、此法ノ精神ヲ滅却スル所以ニナル
譯デアリマスカラ、選定ニ付テハ固ヨ
リ嚴重ナ方針ヲ執ッテ參ルコトガ必要
デアルト思フノデアリマス、唯奈何セ
ンソレヲ法律デ何處迄ノ範圍ヲドウト
云フヤウナコトハ、物ノ性質ニ依ルコ
トデアリマスカラ、此法律ヲドウ修正
シマシテモ、其範圍ヲ限定スルコトハ、
是ハ中々困難デハナイカト思フノデア
リマス、御趣旨ニハ全然同感デアリマ
スガ、法案トシテハドウモ此程度ノコ
トデ御満足ヲ得ナケレバナラナイコト
デハナカラウカト思フノデアリマス、
ソレカラモウ一點ハ從來、此規則ニア
リマス通りニ、一箇年ニ十五萬乃至二
十萬ノ金ヲ國庫カラ出スコトニ相成ッ
テ居リマシテ、前回モソレニ付テハ實
ハ説明ヲ申上ゲマシタガ、今日國寶ト

ハ、ソレハ毛頭アリマセヌ、唯是迄ハ御
承知ノ通りニ、古社寺有ノ物ダケガ保
存法ニ依テ保存ヲサレテ居リマシタ
ガ、場合ニ依テハドウモ個人ノ所有物
デ、前回モ此處デ御披露申上ゲマシタ
ガ、古社寺有ノ國寶ニ較ベテ劣ラザル
優良ナ逸品ガ民間ニモ相當アル譯デア
リマスカラ、左様ナ物モ矢張國寶トシ
テ指定シ得ル餘地ヲ造ルト云フコトハ
必要デアル、併ナガラ何ヲ國寶トシテ
指定スルカト云フコトハ、是ハ武藤君
ノ御説ト私共ノ考モ同様デアリマシ
テ、相當嚴重ナ範圍ニ限定シナケレバ
ナラヌ、苟モ是ガ濫ニナルト云フコト
ハ、此法ノ精神ヲ滅却スル所以ニナル
譯デアリマスカラ、選定ニ付テハ固ヨ
リ嚴重ナ方針ヲ執ッテ參ルコトガ必要
デアルト思フノデアリマス、唯奈何セ
ンソレヲ法律デ何處迄ノ範圍ヲドウト
云フヤウナコトハ、物ノ性質ニ依ルコ
トデアリマスカラ、此法律ヲドウ修正
シマシテモ、其範圍ヲ限定スルコトハ、
是ハ中々困難デハナイカト思フノデア
リマス、御趣旨ニハ全然同感デアリマ
スガ、法案トシテハドウモ此程度ノコ
トデ御満足ヲ得ナケレバナラナイコト
デハナカラウカト思フノデアリマス、
ソレカラモウ一點ハ從來、此規則ニア
リマス通りニ、一箇年ニ十五萬乃至二
十萬ノ金ヲ國庫カラ出スコトニ相成ッ
テ居リマシテ、前回モソレニ付テハ實
ハ説明ヲ申上ゲマシタガ、今日國寶ト

ハ、ソレハ毛頭アリマセヌ、唯是迄ハ御
承知ノ通りニ、古社寺有ノ物ダケガ保
存法ニ依テ保存ヲサレテ居リマシタ
ガ、場合ニ依テハドウモ個人ノ所有物
デ、前回モ此處デ御披露申上ゲマシタ
ガ、古社寺有ノ國寶ニ較ベテ劣ラザル
優良ナ逸品ガ民間ニモ相當アル譯デア
リマスカラ、左様ナ物モ矢張國寶トシ
テ指定シ得ル餘地ヲ造ルト云フコトハ
必要デアル、併ナガラ何ヲ國寶トシテ
指定スルカト云フコトハ、是ハ武藤君
ノ御説ト私共ノ考モ同様デアリマシ
テ、相當嚴重ナ範圍ニ限定シナケレバ
ナラヌ、苟モ是ガ濫ニナルト云フコト
ハ、此法ノ精神ヲ滅却スル所以ニナル
譯デアリマスカラ、選定ニ付テハ固ヨ
リ嚴重ナ方針ヲ執ッテ參ルコトガ必要
デアルト思フノデアリマス、唯奈何セ
ンソレヲ法律デ何處迄ノ範圍ヲドウト
云フヤウナコトハ、物ノ性質ニ依ルコ
トデアリマスカラ、此法律ヲドウ修正
シマシテモ、其範圍ヲ限定スルコトハ、
是ハ中々困難デハナイカト思フノデア
リマス、御趣旨ニハ全然同感デアリマ
スガ、法案トシテハドウモ此程度ノコ
トデ御満足ヲ得ナケレバナラナイコト
デハナカラウカト思フノデアリマス、
ソレカラモウ一點ハ從來、此規則ニア
リマス通りニ、一箇年ニ十五萬乃至二
十萬ノ金ヲ國庫カラ出スコトニ相成ッ
テ居リマシテ、前回モソレニ付テハ實
ハ説明ヲ申上ゲマシタガ、今日國寶ト

シテ指定セラレテ居リマス優秀ナ
建造物ナド、殆ド廢滅ニ歸セントス
ル虞ノアル物ガ随分多イノデアリマ
ス、サウ云フ物ニ對シテ修覆ヲ致シマ
スルノニモ、此二十萬圓ノ金デハドウ
モナラヌ、ドウシテモ是レ以上出シ得
ル途ヲ法律上決メテ置カナケレバナラ
ヌト云フ考デ、今度ハ特ニ第二項ヲ入
レテ「前項ノ金額ノ外特ニ必要アルト
キハ豫算ノ定ムル所ニ依リ臨時ニ補助
金又ハ補給金ヲ支出スルコトヲ得」此
箇條ヲ今回ハ挿入致スコトニ致シマシ
テ、之ニ基イテ先般御協賛ヲ願ヒマシ
タ昭和四年度ノ豫算ニ於テハ、經常費
二十萬圓ノ外ニ臨時費トシテ更ニ二十
五萬圓ヲ支出スルト云フコトニ致シ
テ居ルノデアリマス、即チ年額四十五
萬圓ニナル譯デアリマシテ、此金ヲ今
後財政ノ事情ガ許シマスレバ、繼續致
シテ參リマシテ、サウシテ修理ノ差迫
テ居ル物ニ對シ補助支出ノ途ヲ講ジタ
イ、斯ウ云フ一方豫算上ノ關係モ伴ッ
テ實ハ此位ハ出シテ宜イ譯デアリマス
カ、一年延期ノ方ハドウゾ御猶豫ヲ願
ヒタイト思ヒマス、ソレカラ個人有
ノ物ヲ皇室博物館其他ニ出陳ヲ命ズル
云フコトハ、是ハ固ヨリ妄ニヤル事デ
ハアリマセズ、又其國寶トシテ指定サ
レテ居ル者ニ、損害ヲ與ヘルヤウナコ
トハ、是ハ無論避ケナケレバナラヌ事
デアルノデアリマシテ、實際ノ運用ト
致シマシテハ、大體所有者ト内協議ヲ

致シマシテ、サウシテヤルト云フコト
ニ相成ルコトデアラウト思ッテ居リマ
ス、唯法律上是ダケノコトヲヤッテ置キ
マセヌケレバ、國家的ノ事柄デアリマ
スカラ、唯個人ガ自分一人デ觀賞セラ
レルト云フ事デナク、或ハ矢張公ノ爲
ニ出シテ貰フト云フコトガ、必要ナル
場合モアル譯デアリマスカラ、ソレデ
此規定ヲ設ケテアル譯デアリマス、併
ナガラ若シ其處置ニ命令ガ不當デア
ル場合ニハ、無論是ハ個人ノ權利ニ關ス
ル事デアリマスカラ、訴願ノ途ヲ開イ
テアル譯デアリマス

○武藤委員 山崎政府委員ノ御説明ヲ
伺コマシテ政府ノ意ノ在ル所ヲ略諒解
致シマシタガ、實ニ只今ノ御説ノヤウ
デアルト、本法案ト云フモノハ根本的
ニ誤ッテ居ルト思フ、只今山崎政府委員
ノ仰ッシャル通り、立法的ニドウ云フモ
ノヲ國寶ニスルト云フコトハ、規定シ
難イト云フ其一言ガ、此法律ヲ以テ政
府ナドト云フ行政官ガ、斯ウ云フ美術
ノ國寶ト云フモノニ容喙スル端ヲ發ス
ルモノデ、寧ロ國民ノ美術心ノ喪失ト
云フコトニ歸着スルダラウト思フ、元
來日本ニ是程美術品ガ保存サレタノ
ハ、何ノ爲デアアル、政治ノ力ニ依テ保存
サレタカ、決シテソナコトハナイ、日
本ノ千二百年以來今日迄ノ美術ハ寧ロ
政治ノ爲ニ棄却サレタ場合ガ多イ、政
治家ガ之ヲ破棄シタ場合ガ多イ、オ寺
ニ火ヲ放ケテ見タリ、個人ノ家ヲ燒イ

テ見タリシテ、政治的ニハ寧ロ之ヲ棄
却シテ來テ居ル、是ガ日本ニ於テ比較
的多數保存サレタノハ、個人的ノ美術
ニ對スル尊重心デアアル、非常ニ美術ヲ
愛スル、我が子ノ如ク美術ヲ愛シテ居
ル、斯ウ云フ日本特有ノ美術品ノ尊重
心ト云フモノガアツタカラ、今日迄保存
サレテ居ル、是ガ無カッタ支那ト同
様日本ノ美術品ト云フモノハ全然無ク
ナツテ居ッタ筈デアアル、ソレヲドウモ政
治家ナドト云フ行政官ガ法律ノ力ニ依
テ、此日本國民ノ、個人ノ美術ニ對スル
尊崇心ニ迄干渉シテ、サウシテ法律ニ
依リ規定シテ置ケバ、美術ガ完全ニ保
存サレルダラウト云フ、斯ウ云フコト
ヲ考ヘラレルト云フコトハ、根本的ニ
立法者ノ考ガ誤ッテ居ルト思フ、山崎政
府委員ハ四十五萬圓アルカラト云フ御
話デアアル、是ハ成程四十五萬カ五十萬
圓、此豫算ガ通過スレバ四十五萬圓カ
五十萬圓ノ金ガアリマセウガ、此法案
ノ第一條ヲ御覽ナサルト直グ分ル、此
美術品ト云フモノハ保護建造物、建物
ガ入ッテ居ル、オ寺ノヤウナ建造物ニ對
シテハ金ノ十萬ヤ二十萬、三十萬ハ直
グ飛ンデシマウ、ソナナ四十萬ヤ五十
萬ノ金ヲ以テ今日迄古社寺保存法ニ依
テ、政府ガ古社寺ニ干渉シテ、之ヲ國寶
ナリト指定シテ、サウシテ是等ヲ保存
セラル、コトニ依テ、完全ニ目的ヲ達
スルト思ハレルカ、四十萬ヤ五十萬ノ
金デ目的ヲ達セラレヌト云フコトハ、

少シデモ美術ニ付テノ研究ヲシテ居ル
者ニハ、何人デモ能ク分ッテ居ル、ダカ
ラ現在ノ政府ノ古社寺保存法ニ依テ國
寶ト指定セラレタモノヲ保存スルニハ、
少クモ年額百萬圓、百五十萬圓、或ハ二
百萬圓ノ費用ガナケレバ、是ガ完全ニ保
存サレ得ナイ、ソレヲ更ニ個人ニ迄及ボ
シテ行ク斯ウ云フヤウナコトハ、是ハ決シ
テ達シ得ザル目的ヲ達シヤウトセラレ
ルノデアツテ、私ハ此法案ノ趣意ハ非常ニ
賛成デアリマスケレドモ、法律ノ力ニ
依テ一國ノ美術品ナルモノガ完全ニ保
存サレルナド、云フコトハ、寧ロ其國
民ノ力ヲ非常ニ弱ク誤解シテ居ル考ダ
ト思フ、戰爭トカ、何カ非常ナ事變ガ起
ツテ、國民ガ美術品ナドヲ西洋ニ抛賣
リスルト云フヤウナコトガアル、世界
大戰爭ノ時ニハ、ソレハ佛蘭西ナドデ
モ此美術品ノ外國輸出ニ對シテ、政府
ノ許可ヲ得ナケレバ輸出スルコトガ出
來ヌト云フヤウナ臨時法ヲ拵ヘタコト
ガアルケレドモ、ソレヲ日本ノヤウニ、
古社寺ノ國寶ヲ束縛シテ、其保存スラ
モ完全ニ爲シ得ナイヤウナ現狀ニ於
テ、更ニ個人ニ迄及ボシテ行キ、行政官
ガドウスルト云フコトデアアルガ、美
術品ナルモノハ國內ニ於テモ眞ニ其鑑
識ヲ持ッテ居ル人ハ極ク少ク、指折ル程
シカナイ、ソレヲ行政官ガ誰ノ處ニ在
ル物ハ國寶ダト言ウテ、續々サウ云フ
物ニ干渉シテ、サウシテ必要ガアルカ
ラ一年間ハ出セ、斯ウ云フコトヲ言ハ

レルト、日本ノ折角貴イ美術ニ對スル國民ノ尊重心ト云フモノハ喪失スルダラウト思フ、斯ノ如キ法案ハ趣意ハ非常ニ結構デアルケレドモ、寧ロ其目的ヲ達スルコトガ出來ズシテ、其目的ニ背馳スル結果ヲ招來スルダラウト思フ、故ニ強ヒテ本法案ヲ政府ガ實行シテ個人ニ迄及ボサウトスルナラバ、先ヅ個人ニシテ希望スル者ニ限ツテセラル、ガ宜イ、國寶ニ指定サレルノヲ喜ブ人モアルダラウ、ケレドモ世間ニハ自分ガ斯ウ云フ貴イ物ヲ持つテ居ルト云フコトヲ知ラレルスラモ好マナイ、我子ヨリモ愛シテ居ル人モアル、寧ロサウ云フ美術ニ對スル熱烈ナ愛ヲ捧ゲテ居ル人々ノ手ニ依テ、今日迄國寶ト云フモノハ保存サレテ來テ居ル、ソレヲ無理ニ引張り出シテ、國寶ダカラ一年間出セト云フノハ、其人ノ其物ニ對スル愛ヲ缺カシテシマフ、サウシテ日本固有ノ美術ニ對スル尊重心ト云フモノヲ失ハセルコトニナル、故ニ強ヒテ政府ガ一年間待テナイ、此議會ニ於テ此法案ヲ通過サシタイト云フ思召ナラバ、個人ノ場合ニ對シテハ、個人ガ希望スルモノニ限ルト云フコトニ修正スルコトヲ、政府ハ同意スルコトガ出來ナイカ、之ヲ御尋シタイ

○山崎政府委員 御意見ニ屬スル部分ハ尙考慮致シテ御返事申上ゲマスガ、一寸武藤サンノ或ハ誤解ト申上ゲテハ失禮デアリマスガ、今日ノ古社寺保存法ニ依テ指定ラシテアルモノニ對シテスラ、百萬ニ二百萬ノ金ハ要ル、ソレニ又私人迄モト云フ御意見デアリマシタガ、此補助金ヲ出シマスノハ、從來同様ニ矢張此古社寺ダケノ積リデアリマシテ、個人ノ方ノコトハ補助金ハ關係ガナイ積リデアリマスカラ、其處ハドウゾ誤解ヲ御取去リ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ百萬、二百萬ナケレバ殆ド足シニモナラヌト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、無論金ハ多々益辨ズルコトハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、併ナガラ今回計畫ヲ立テマシタ四十五萬圓ト云フモノヲ、假ニ十箇年繼續ガ出來マスレバ、四百五十萬圓デアリマス、四百五十萬圓ノ金ガアリマス、十箇年內ニ修理ノ急ニ迫ツテ居ルモノダケニ付テハ、大體修理ノ目的ヲ達シ得ル計畫ニ相成ツテ居ルデアリマス、其處ハドウゾ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ更ニ行政官ガ美術ニ立入ルト云フ點デアリマスガ、是ハ私ハ美術ノ事ハ全ク素人デ何モ分リマセヌ、是ハ主トシテ國寶保存會ノ方デアルデアリマシテ、此方ノ組織ハ先般川崎君カラノ御意見ガアリマシテ、餘程組織ニ付テハ考慮ヲ拂ハナケレバナリマセヌガ、全ク斯道ニ堪能ナ方々ヲ網羅スル考デアリマシテ、必要ニ應ジテハ特殊ノ専門家ヲ又臨時ニ御囑託スルト云フヤウナ方法モ執リマシテ、決シテ政治家トカ或ハ行政官ト云フヤウナ者が、

國寶ノ指定ヲ左右スルト云フヤウナ考デハナイノデアリマシテ、其邊ハドウゾ御心配ヲ御取去リ願ツテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ從來指定サレタ物ノ中ニ、或ハドウモ國寶タル價值ノ無イ物モアルノデハナイカト云フヤウナ御意見デアリマスガ、ソレハマア人々ノ考ニ依ルコトデアリマスケレドモ、此處ニ丁度専門家ノ方々モ二人見エテ居リマスガ、相當嚴重ニ審査ヲ致シテアル積リデアリマス、是ダケヲ御答申上ゲテ置キマス

○武藤委員 只今山崎政府委員ハ私ノ申上ゲタ個人ノ物ハ希望スルモノニ限ルト云フコトノ制限ヲ置クコトニ付テハ考慮スルト仰セラレマシタガ、ドウカ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、一體山崎政府委員ノ御話ヲ伺フト、私ハ益此法案ノ不備ナルヲ思フ、此四十萬カ、四十五萬ハ古社寺ノモノダケダ、斯ウ云フコトヲ言ハレルガ、個人ノ物デモ既ニ法律デ束縛シテ國寶トシテ指定シテ、一年間ハ何時デモ命令ニ從ツテ出セト云フコトヲ強制スレバ、其保存ニ對シテハ政府トシテハ保存ノ費用ヲ支出スル義務ヲ負ハレルガ當然デアル、ソレハ人ニ依テ辭退スル人ガアルカモ知ラヌガ、總テノ人ガ辭退スルカドウカ、或ハ國寶ノ如キ立派ナ品物ヲ持つテ居ル者ハ相當財産ヲ持つテ居ル人バカリニ限ラナイ、其處ニ日本ノ尊イ所ガアル、詰リ家ヲ賣ツテ茶碗ヲ買ツタト云フヤウナ話ガアル、是ハ日本ノ國民ニ限ツタ話デアアル、是ハ美術ニ對スル憧憬心ガ非常ニ強イカラデアアル、全財産ヲ蕩盡シテ一ツノ美術品ヲ求メテ、サウシテ生活ニ汲々トシテ居ル人モアル、ソレヲ國寶ニ指定シテ、是ハ個人ノ物ダカラ修理ハオ前勝手ニヤレ、外部ニ賣ルコトハ相成ラス、斯ウ云フコトハ非常ナ誤デアル、苟モ法律デアレバ古社寺ニ限ラヌ、個人ノ物デモ國寶トシテ指定シタモノハ、其總テノ費用ヲ國家ガ負擔スル義務ヲ負ハナケレバナラヌト思フ、山崎政府委員ハ四十萬カ四十五萬アレバ十年デ四百五十萬ニナルカラ、古社寺ノ保存ハ行届クト仰セラレマスガ、此點ハ議論ニナリマスカラ申上ゲマセヌガ、私ハ到底其位ノ金デハ不十分デアルト思フ、勿論専門家ノ御方ガ御出ニナツテ、十分ダト云フコトヲ御斷言爲サルナラバ、斷言シテ置イテ戴キタイト思フ、私ノ見ル所デハ、此位ノ金デハ現在ノ古社寺法ニ依ル古社寺ノ保護、建造物其物ヲ完全ニ保存スルダケデモ私ハ困難ト思フ、ソレヲ輕々シク個人ニマデ及ボサレルト云フコトハ、私ハ非常ニ考慮ヲ要スルモノデナイカト考ヘマス、今一ツ山崎政府委員ニ申上ゲタイノハ、個人ノ物デモ成ベク大勢ノ人ニ見セルヤウニシタイ、是ハ私ハ結構ナコト、思フ、斯ウ云フ點ハ法律デハ出來ナイ、矢張國民思想ノ變化ガ伴ハナケレバナラヌ、西洋デハ個人

ノ美術品ハ博物館ノ一室ヲ借りテ出シテ居ル人ガ可ナリ多イケレドモ、日本ノ傳統的美術ニ對スル愛鑑心ハ、今日迄正反對ノ思想ニ依テ支配サレテ來タ故ニ、唯西洋ガ斯ウダカラ日本モ直グソレヲ法律デ以テ行ハウ、斯ウ云フ急激ナ變化ヲ法律ガ出來ルヤウニ御考ニナルノハ、私ハ根本的ニ誤デアル、矢張自然ト日本國民モ美術品ナドモ公衆ト共ニ樂シムト云フ思想的ノ變化ガ伴ツテ來ナケレバナラス、是ハ文部省ノ教育、其他デ次第ニ國民的指導ヲ與ヘテ行クベキモノデアッテ、法律デ以テ無暗ニサウ云フ千何百年ノ傳統的精神ヲ變ヘテ行カウト云フコトヲ御圖リニナルコトハ、正反對ノ結果ニナリ、又若シ國寶ガ外國ニ流出スルノヲ恐レルナラバ、私ハ別ナ法律ニ爲サルガ宜イ、日本ノ國寶、ドレガ國寶ダト云フコトハ中々困難ダ、例ヘバ現代ノ繪畫デモ國寶トスベキモノガアルカモ知レナイ、五十年、百年、千年前ノモノデモ國寶トスル價值ノ無イ物モアル、併ナガラ現在ノ美術家ノ物ハ強チ國寶トシテ法律デ外國ニ流出スルコトヲ防グ必要ハナイカト思フ、佛蘭西政府邊リガ戰爭ノ時ニヤッタヤウニ、若シ政府ノ方々ガドウシテモ海外ニ流出ヲサセタクナイト云フコトデアルナラバ、今ノ五十年前ノ人ノ畫イタ繪デアルトカ、五十年前ニ死ンダ人ノ拵ヘタ美術品ノ如キハ、外國ニ輸出スル時ニハ政府ノ許可ヲ受ケ

ロ、斯ウ云フ別ノ法律ヲ拵ヘテモ、外國ヘ流出スルコトヲ防グコトハ出來ル、之ニ反シタモノヲ茲ニアルヤウナ制裁ヲ加ヘラレテモ差支ナイ、寧ロサウ云フ方法ニ依テ外國ヘ流出スルコトヲ防ガレルガ一策ダト思フ、併シソレモ政府ガソレヲ望マレルナラバ強ヒテ反對ハシナイケレドモ、法律デ以テサウ云フコトヲスルト云フコトハ、是ハ戰爭トカ何カ非常ナ事變ノ場合ニ於テハ、ソレハ私ハ可ナリト考ヘマスガ、平常ニ於テサウ云フ法律デ以テ國寶ガ外國ヘ出ルノヲ防グト云フコトハ、抑國民ノ美術ニ對スル薄弱ナル精神ヲ日本國民ガ表白スルノデ、世界ニ對シテ面目トナル、日本國民ハ自分ノ國寶ヲ海外ニ出スト云フコトハ、國民ガ之ヲ防グ、サウシテ日本ニ留置スト云フコトハ英國國民ノヤウニ、常ニ是ガ爲ニ共同一致スルト云フ精神ニ待ツト云フコトニ、基礎ヲ置イテ置クノガ私ハ本當ダト思フ、ソレヲ文部省カラ法律案ヲ出シテ、國民ノ根本精神ヲ指導スル、文部省ガ法律ニ依テ無暗ニ國寶ノ流出ヲ防ガウト色々拘束ヲ加ヘテ、次第ニ擴張シテ進ンデ行カウト云フヤウナコトハ、洵ニ權著シテ居リハシナイカ、是ハ内務省ガヤルコトナラバ間違ッタコトヲヤルカモ知レナイガ、國民ノ文部省ヲ拵ヘテ居ルノハサウ云フ考デハナイ、法律ナドニハ文部省デハ力ヲ致サナイデ、吾々國民ヲ指導スル、斯ウ云フ所

ニ重キヲ置カレルノガ本當ダト思フ、文部省カラ斯ウ云フ法律案ヲ提出シテ、個人ノ品物ニ對シテ無暗ニ拘束ヲシテ、サウシテ而モ僅カ四十萬、五十萬ノ金ヲ以テ其目的ヲ達スルコトガ出來ルトハ、ドウシテ承服出來ナイ、ドウカ十分ナル御研究ヲ御願ヲシテ、此次ノ委員會ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイ、詰リ個人ノ物ヲ強ヒテ斯ウ致サウトスルノデナクシテ、個人ガ希望スル場合ニ限ルトカ、或ハ其他外國ヘ流出スル物ヲ防グ特別ノ法ヲ拵ヘルトカ、斯ウ云フ風ニ御考慮ヲ願ヒタイ、此點ニ付テ私ハ希望ト質問ヲ兼ネテ、サウシテ此次ノ委員會マデ私ノ更ニ質問申上ゲタイト思フコトヲ、保留シテ置キマス

○川崎委員 政府ノ御答ニナル前ニ、一寸速記ヲ止メテ貰ヒタイ

○山下委員長 ソレデハ速記ヲ止メテ懇談ニ入りマス

〔速記中止〕

○山下委員長 今日ハ質問ハ此程度デ打切リマシテ政府ニ能ク御考慮ヲ煩スコトニシテ今日ハ是デ散會致シマス

午前十一時三十一分散會

衆議院國寶保存法案委員會議錄
第二回中正誤

頁	段	行	誤	正
五	三	一六	巨勢	行成

昭和四年二月二十三日印刷

昭和四年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社